

鈴鹿サーキット50周年 アニバーサリーデー



イベント情報 Vol.3

2012年7月28日
株式会社モビリティランド
鈴鹿サーキット



鈴鹿サーキット50周年 アニバーサリーデー

9月1日(土)～2日(日)に鈴鹿サーキットにて開催される「鈴鹿サーキット50周年アニバーサリーデー」のイベント実施内容が決まりました。「鈴鹿サーキット50周年アニバーサリーデー」は、鈴鹿サーキット50年の歴史とともに日本のモータースポーツの歴史を振り返ります。50年の歴史が凝縮された2日間をお楽しみください。



■コースイベントタイムスケジュール

■実施イベントの詳細がいよいよ決定

- 「2輪ロードレースの幕開け」—— 第1回全日本ロードレース
- 「華麗なる'60年代自動車レース」
- 「世界に通ずる鈴鹿1000km」
- 「究極のツーリングカー」
- 「クラシックフォーミュラデモレース」
- 「8耐英雄伝説」
- 「ワールドグランプリ——時空を超えたレジェンドとの再会」
- 「鈴鹿フォーミュラ列伝」
- 「鈴鹿F1レジェンド」
- 「永遠のライバル対決! —— 星野一義・中嶋悟最終決着」
- 「マクラーレン・ホンダの競演——受け継がれるライバルたち」
- 「アニバーサリーパレード」



■50周年を祝う豪華な海外ゲスト陣!

■日本人、名ライダー・ドライバーも続々参加が決定

■8月22日からタイムマシン展示が開催



大会名称: 鈴鹿サーキット50周年アニバーサリーデー (SUZUKA CIRCUIT 50th Anniversary Day)

主催: 株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット

会場: 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース

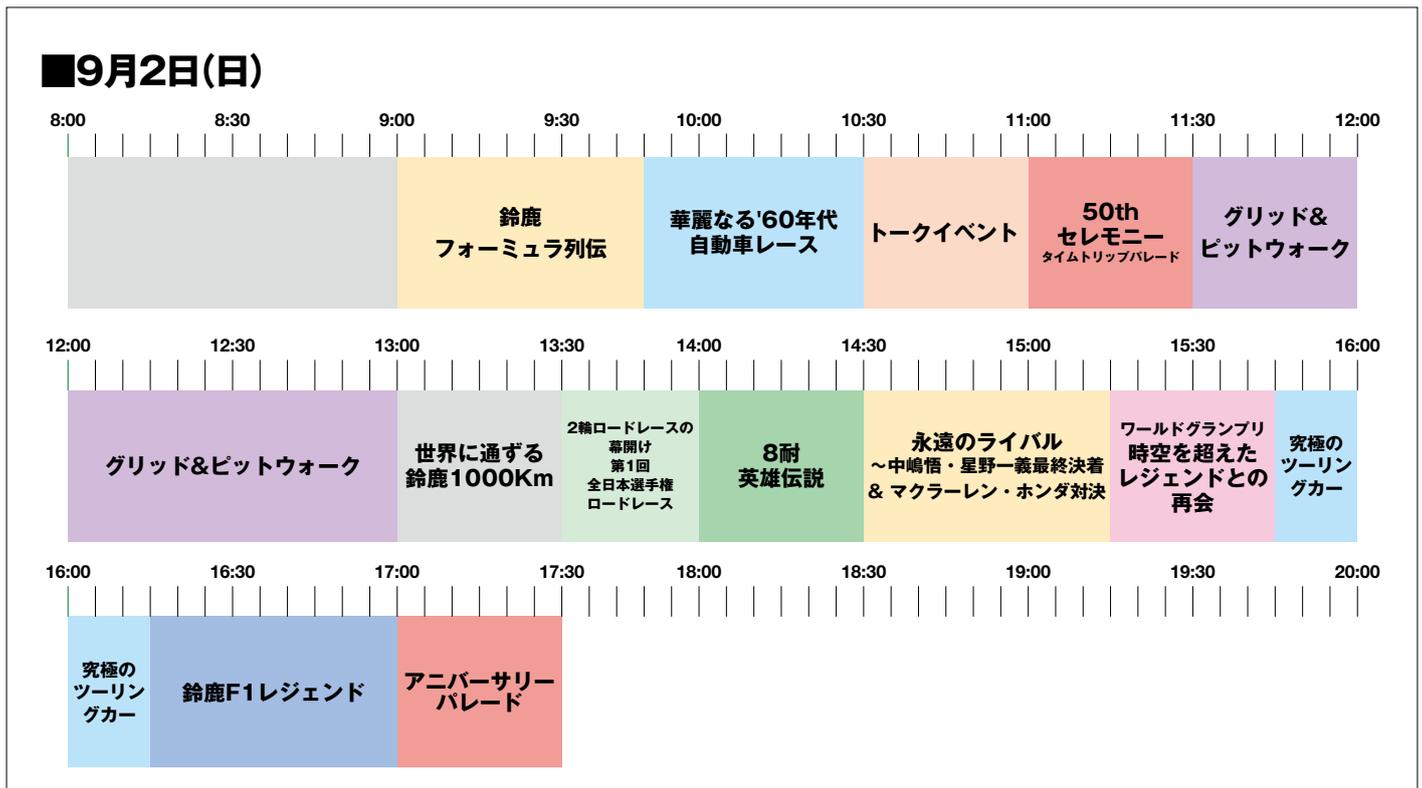
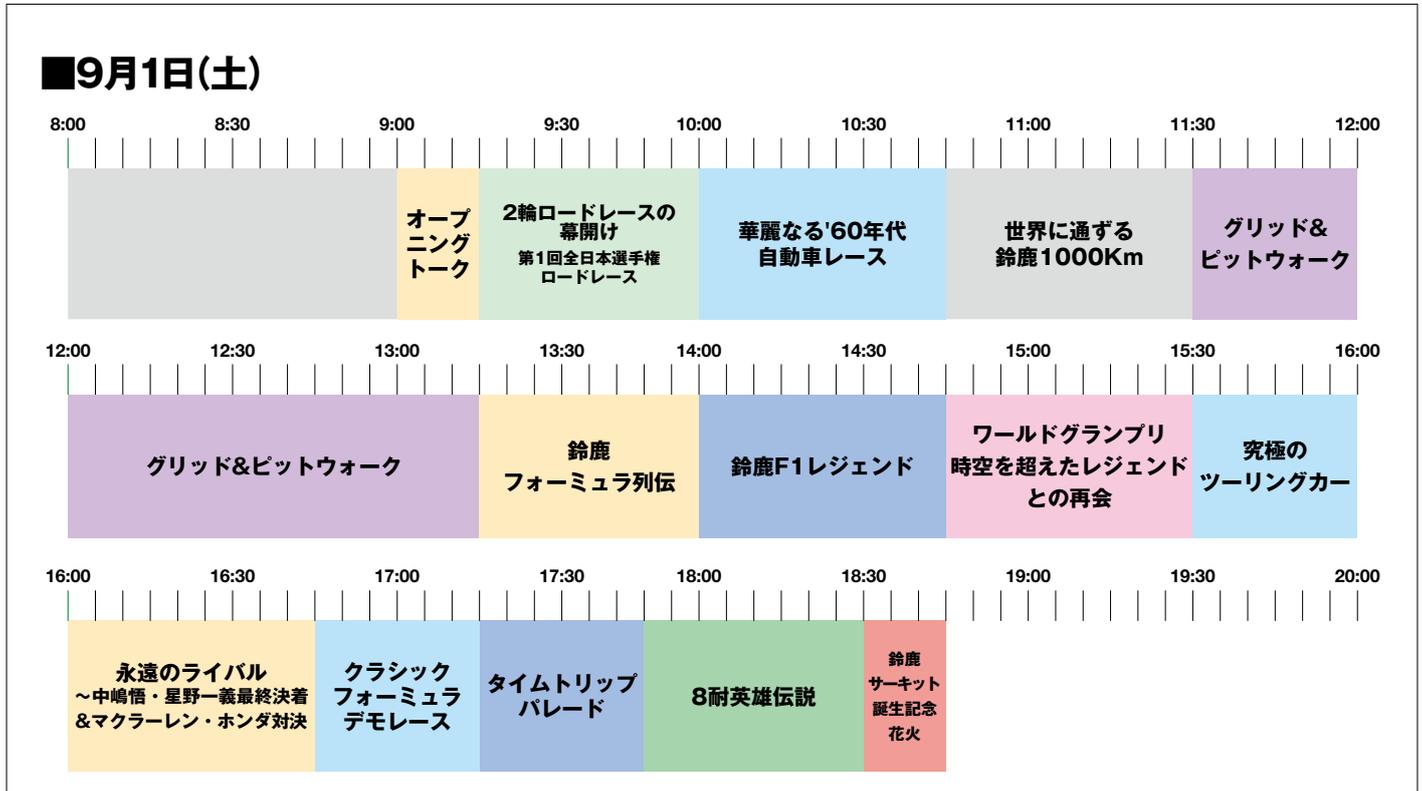
日程: 2012年9月1日(土)～2日(日)

入場料金: ゆうえんち入園料

※「鈴鹿サーキット50周年アニバーサリーデー」は特設ウェブサイト(<http://www.suzukacircuit.jp/50anniversary/>)で特別無料招待券をダウンロードいただけます。

コースイベントタイムスケジュール

50年の歴史が凝縮された2日間。
それぞれの時代を彩った選手、マシンが長い時を経て我々の前に登場いたします。



※タイムスケジュールは変更になる場合があります。

往年のマシンがレーシングコースを駆け巡る

レーシングマシンのデモンストレーション走行イベントのご案内

2輪ロードレースの幕開け —— 第1回全日本選手権ロードレース

鈴鹿サーキットのオープニングレースとなった1962年第1回全日本選手権ロードレースを再現すべく、当時のマシンが大集結する。また、往年のマシンとともに第1回日本グランプリ250cc、350cc両クラスの優勝ライダーであるジム・レッドマン氏が250cc世界タイトルを獲得したRC164を、そして日本人ゲストライダーが革新的技術で'60年代のロードレースシーンをリードした名車とともに登場する。



走行マシン

- ・スズキRM62('62)
- ・ホンダRC116
- ・トーハツ105Y('62)
- ・ホンダRC149('66)
- ・ヤマハTD-1('62)
- ・ホンダRC164('63)
- ・ホンダ4RC146('65)
- ・ホンダRC166('66)
- 他多数

■開催日：9月1日(土) 9:15~10:00
9月2日(日) 13:30~14:00

●主な走行マシンとライダー



ホンダRC164 (G・レッドマン)



ホンダ4RC146 (高橋国光)



ホンダRC166 (北野 元)



ホンダRC116 (谷口尚巳)



ホンダRC149 (菱木哲哉)

華麗なる'60年代自動車レース

ポルシェ、ロータス、ジャガーなど海外のマシンがサーキットを駆け巡った'60年代。それに対抗すべくトヨタ、日産、ホンダのマシンも登場し激しい戦いが繰り広げられた当時の様子を再現する。

走行予定マシン

- ・ロータス11('57)
- ・日野コンテッサ1300('63)
- ・ロータス23('63)
- ・スカイラインGT('64)
- ・ポルシェ904GTS('64)
- ・ジャガーEタイプ('64)
- ・ホンダS600('65)
- ・トヨタS800 ('65)
- ・ポルシェ906('66)
- ・ホンダS800
マーシャルカー('68)
- ・マクランサ(S600ベース)('67)
- ・ダットサンSR311('67)
- ・コニリオ

■開催日：9月1日(土)10:00~10:45
9月2日(日) 9:45~10:30



世界に通ずる鈴鹿1000km

1966年に初めて開催された「鈴鹿1000km」。時代の移り変わりとともに、カテゴリーや距離などのレギュレーションが変遷しながら、今もなお夏の鈴鹿を代表する耐久レースとして、存在感を放っている。この伝統ある「鈴鹿1000km」を戦ってきた名車たちが、時代を超えて、当時を彷彿させる走りを披露する。

走行予定マシン

- ・ホンダS800
RSC仕様('68)
- ・ローラT70 MkIII('68)
- ・BMW M1('82)
- ・MCSグッピー-BMW('85)
- ・マツダ 767B('89)
- ・日産 R90CK('90)
- ・マツダ787B('91)
- 他

※ドライバーは順次ご案内いたします。



■開催日：9月1日(土)10:45~11:30
9月2日(日)13:00~13:30

究極のツーリングカー

羊の皮を被った狼。市販車のシルエットと卓越したスピード性能からそのように形容されるツーリングカー。鈴鹿サーキットの長い歴史の中で、フォーミュラカー、耐久マシンとともに数々の名勝負を繰り広げてきた。90年以降の鈴鹿サーキットにおいて、輝きを放ったマシンたちが集う！

※走行マシン・ドライバーは順次ご案内いたします。

■開催日：9月1日(土)15:30~16:00
9月2日(日)15:45~16:15

クラシックフォーミュラデモレース

'60年代に活躍したフォーミュラマシン約30台が集まりデモンストレーションレースを開催する。

※協力:ヒストリックフォーミュラレジスター

■開催日:9月1日(土)16:45~17:15

走行予定マシン

- ・LOTUS 18FJ
- ・LOTUS 22
- ・Brabham BT16
- ・LOTUS 41
- ・Alexis-14
- ・LOTUS 51
- ・LOTUS 41
- ・Brabham 21
- ・LOTUS 41
- ・LOTUS 51
- ・TECNO FF
- ・Merlyn Mk11A
- ・TITAN MK6
- など

※参加車両は60年代に各サーキットにおいて活躍した車両をレストアしたもので、鈴鹿サーキットのレースに参加した車両ではありません



●走行予定マシン



8耐英雄伝説

真夏の祭典として、鈴鹿サーキットの歴史でもっとも重要なオートバイレース「鈴鹿8時間耐久レース」。長い歴史の中で繰り広げられた数々のドラマを再現する。歴代のウイナー達はその時代で強さと速さを誇った名車で鈴鹿を駆ける。また、ホンダ耐久マシンの源流とも言えるCB750なども登場し、耐久の歴史がここに集結する。

1日（土）はチェッカーフラッグと同時に花火の打ち上げを予定している。



走行マシン

- ・ホンダCB750('73)／菱木哲哉
- ・ホンダRCB1000('76)／岡田忠之
- ・スズキGS1000R('80)／G・クロスビー
- ・ヤマハYZF750 OWB7('90)／E・ローソン
- ・ホンダRVF750('91)／W・ガードナー

■開催日：9月1日（土）17:45～18:30
9月2日（日）14:00～14:30

●主な走行マシンとライダー



ホンダRCB1000（岡田忠之）



ヤマハYZF750（E・ローソン）



ホンダRVF750（W・ガードナー）



鈴鹿サーキット50周年 アニバーサリーデー

ワールドグランプリ——時空を超えたレジェンドとの再会

フレディ・スペンサー、ワイン・ガードナー、エディ・ローソン、ケニー・ロバーツ、コーク・バリントンなど、WGPのレジェンドライダー達が一堂に会する鈴鹿50周年のスペシャルコンテンツ。

時代毎に最強を誇ったグランプリマシンも揃い、世界が注目するデモンストレーションイベントとなる。

走行マシン/ライダー

- ・カワサキH2R('74)/K・バリントン
- ・ホンダCB500R('75)/宮城 光
- ・ヤマハYZR500 OW70('83)/K・ロバーツ
- ・ホンダNS500('84)/F・スペンサー
- ・ホンダNSR500('84)/F・スペンサー
- ・ホンダNSR500('88)/W・ガードナー
- ・スズキRG-500('82)/水谷勝
- ・ホンダNSR250('97)/原田哲也
- ・ホンダNSR500('97)/伊藤真一
- ・ホンダNSR250('01)/岡田忠之
- ・ホンダNSR500('02)/清成龍一
- ・ホンダRC211V('02)/玉田 誠



■開催日：9月1日(土)14:45~15:30
9月2日(日)15:15~15:45

●主な走行マシンとライダー



ヤマハYZR500 OW70 (K・ロバーツ)



ホンダNS500 (F・スペンサー)



ホンダRC211V (玉田誠)

鈴鹿サーキット50周年 アニバーサリーデー

鈴鹿フォーミュラ列伝

'70年代から'80年代にかけて鈴鹿サーキットを駆け巡った数々のフォーミュラマシンが集結。懐かしいマシンが時代を超えて登場する。

■開催日：9月1日(土) 13:15~14:00
9月2日(日) 9:00~9:45

走行マシン

- ・FL500('70年代)
 - ・マーチ742('74)
 - ・ブラバムBT30('75)
 - ・ノバ532P('78)
 - ・マーチ86J('86)
 - ・ローラT88-50('89)
- 他多数

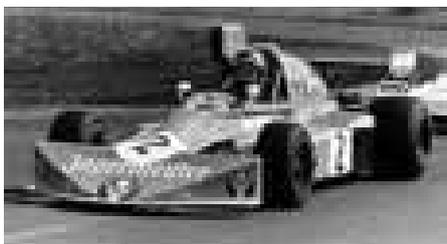
※ドライバーは順次ご案内いたします。



●主な走行マシン



FL500



マーチ742



マーチ86J

鈴鹿F1レジェンド

'60年代鈴鹿サーキットでテスト走行をし、世界に飛び立ったホンダ第1期のF1マシンを始め、1987年鈴鹿でのF1日本グランプリ開催以降に数々の伝説を作ったマシンが集結する。

走行マシン

- ・ホンダRA272('65)
- ・ホンダRA300('67)
- ・ホンダRA301('68)
- ・ウィリアムズFW11('86)
- ・ロータス100T('88)
- ・マクラーレンMP4/4('88)
- ・マクラーレンMP4/5('89)
- ・ホンダRA106('06)

■開催日：9月1日(土)14:00~14:45
9月2日(日)16:15~17:00



●主な走行マシンとドライバー



RA272 ('65) / 高橋国光



RA300 ('67) / 宮城光



RA301 ('68) / 鈴木亜久里



ウィリアムズFW11 ('86) / 星野一義



ロータス100T ('88) / 中嶋 悟



マクラーレンMP4/4 ('88) / 伊沢拓也



マクラーレンMP4/5 ('89) / 塚越広大



ホンダRA106 ('06) / 小暮卓史



永遠のライバル対決！——星野一義・中嶋悟最終決着 マクラーレン・ホンダの競演——受け継がれるライバルたち

3月に行われたファン感謝デーから続く、星野vs中嶋の最終決着をアニバーサリーデーで実施することが決まった。さらにセナvsプロスト時代を彷彿とさせるマルボロカラーのマクラーレンF1マシンが2台登場し、現在フォーミュラニッポン同チームでタイトルを争う伊沢拓也選手と塚越広大選手がドライブする。



走行マシン

- ・ウィリアムズFW11('86)
- ・ロータス100T('88)
- ・マクラーレンMP4/4('88)
- ・マクラーレンMP4/5('89)

■開催日：9月2日(土) 16:00～16:45
9月2日(日) 14:30～15:15

●主な走行マシンとドライバー



ウィリアムズFW11 (星野一義)



ロータス100T (中嶋 悟)



マクラーレンMP4/4 (伊沢拓也)



マクラーレンMP4/5 (塚越広大)

■50周年を祝う豪華な海外ゲスト陣！

鈴鹿サーキットの50周年を祝い海外から往年のドライバー&ライダーが集結します。
時代ごと世界の頂点に君臨したビッグネームが一堂に会するスペシャルなゲスト陣です。
この度、元祖“ミスター8耐”こと、ワイン・ガードナー選手の来日も決まりました。



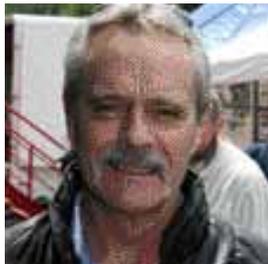
ジム・レッドマン
(イギリス)



ウェイン・レイニー
(アメリカ)



アレッサンドロ・ナニーニ
(イタリア)



コーク・バリントン
(南アフリカ)



エディ・ローソン
(アメリカ)



グレアム・クロスビー
(ニュージーランド)



フレディ・スペンサー
(アメリカ)



ケニー・ロバーツ
(アメリカ)



ワイン・ガードナー
(オーストラリア)

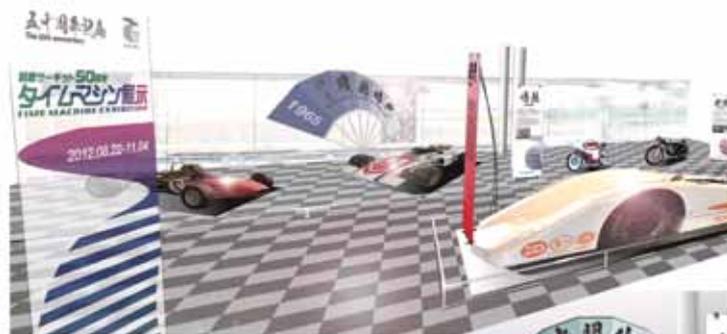
参加が決定した主な外国人ライダー&ドライバー(主な戦績)

- | | | |
|---------------|------------|---|
| ・ジム・レッドマン | (イギリス) | '62年世界選手権250cc、350cc両クラスチャンピオン。ホンダワークスライダー |
| ・コーク・バリントン | (南アフリカ) | '78年、'79年にカワサキワークスとしてWGP250cc、350cc両クラスにてチャンピオンを獲得 |
| ・グレアム・クロスビー | (ニュージーランド) | '80年マン島TTレース優勝、鈴鹿8耐にヨシムラ・スズキから出場し優勝 |
| ・ケニー・ロバーツ | (アメリカ) | '78年から3年連続WGPのチャンピオンをヤマハワークスライダーとして獲得 |
| ・ウェイン・レイニー | (アメリカ) | '90年から3年間、チームロバーツ・ヤマハでタイトルを獲得 |
| ・エディ・ローソン | (アメリカ) | '84年、'86年、'88年、'89年のWGPチャンピオン |
| ・フレディ・スペンサー | (アメリカ) | '83年ロードレース世界選手権(WGP)500ccクラス/'85年ロードレース世界選手権(WGP)500cc、250cc両クラスのシリーズチャンピオン |
| ・ワイン・ガードナー | (オーストラリア) | '86年ロスマンズ・ホンダのワークスライダーとなり開幕戦初優勝。
'87年オーストラリア人初のワールドチャンピオンに輝く |
| ・アレッサンドロ・ナニーニ | (イタリア) | '89年F1日本GPで優勝。その後'97年にはFIA-GTでも鈴鹿で勝利を飾る |

■タイムマシン展示

ホッカ1000kmが開催される8月22日から、フォーミュラニッポン最終戦が開催される11月4日の期間にわたり、ピットビル2階ホスピタリティラウンジにおいて伝説のレーシングマシンの記念展示を実施します。

鈴鹿サーキット50周年
タイムマシン展示
TIME MACHINE EXHIBITION



「鈴鹿戦国時代」ゾーンのイメージ



「夜明け」ゾーンのイメージ

2輪 《8台》

年	車両	参加レース・ストーリー
1962	ホンダRC112	第1回鈴鹿ロードレース 優勝マシン
1965	ヤマハRD56	1965年の世界グランプリ参戦マシン
1968	カワサキA1R	1968年 鈴鹿セニア250クラスで和田将宏が優勝
1982	ホンダNR500 (2X)	鈴鹿200kmロードレース オーバルピストンNR初優勝
1985	ヤマハFZR750 OW74 テック21	第8回鈴鹿8耐 優勝マシン
1992	ヤマハYZR500 OWE0	
1993	カワサキZXR-7	第16回鈴鹿8耐 優勝マシン
2001	ホンダNSR500	日本グランプリロードレース 優勝マシン ※Honda500勝

4輪 《6台》

年	車両	参加レース・ストーリー
1966	トヨタ2000GT	スピードトライアル仕様
1966	三菱F3A	第1回日本グランプリ 優勝
1970	トヨタ7	ターボ車両
1971	三菱F2000	第8回日本グランプリ 優勝
1987	ウィリアムズ・ホンダFW11B	鈴鹿での第1回F1日本グランプリ出場マシン
2009	トヨタTF109	F1日本グランプリ 3年ぶり鈴鹿でのF1GP、トヨタのトゥルーリが競り勝って2位